

令和2年度 第1回東与賀公民館運営委員会 議事録

日 時：令和2年10月7日（水） 午後1時30分～午後2時30分

場 所：東与賀農村環境改善センター（中会議室）

出席者：委員9名、事務局（公民館）2名

欠席者：なし

1 開 会

2 館長あいさつ

館 長：昨年度委員会で話し合っただいた事柄は、本年度に活かしている。今日の委員会も次年度の運営に活かしていきたい。

3 自己紹介（資料2頁参照）

事務局：前年度に、できれば委員の10人目に40代ぐらいの男性に入っていただきたいと言っていたが、なかなか適任者を見つけきれないでいる。適任者がいたら、教えていただきたい。

4 東与賀公民館運営委員会要綱について（資料1頁参照）

事務局：この要綱は、平成31年4月1日からの施行となる。

事務局：昨年度から「公民館運営委員会」に変わったことにより、地域住民に寄り添った話し合いをしていただいている。

5 会長選出・・・会長 富吉 氏

6 議 事

（1）令和元年度東与賀公民館事業報告について（資料3頁～8頁参照）

事務局：（令和2年度東与賀公民館事業報告のとおり読み上げる）

事務局：令和2年2月第4週より、新型コロナウイルスの対策のため、公民館の講座が中止になったり、貸館に規制がかかったりしている。特に6月までは公民館活動がほとんどできない状態だった。そのため、昨年度に比べ、今年度の前半の利用数は激減している。

委員：未定になっているPTAとの共催「人づくり講演会（家庭教育講座）」だが、PTAの会議があり中止が決定した。

事務局：では、「人づくり講演会」は、本年度は中止としたい。

委員：「ミニ子ども文化祭」の開催の自治会への働きかけはどうなっているのか。

事務局：今月の自治会で、チラシの班回覧をお願いする予定。

（２）令和３年度東与賀公民館事業計画について（資料９頁～１４頁参照）

事務局：（令和３年度東与賀公民館事業計画のとおり読み上げる）

委員：決定したら、これで行くのか。

事務局：特に問題がなければ、この計画で進めていきたい。

それで、令和３年度の運営方針やテーマは、今年度とほぼ変えていない。テーマ等、変えた方が良いか、意見を聞きたい。

委員：本年度は、オリンピックイヤーということで、「国際交流」をテーマにされていたが、オリンピックも延期になり、不完全燃焼だったと思う。

文化的高揚を高めるのも公民館の役目。来年度、オリンピックを開催する予定であるなら、引き続き「国際交流」をテーマで良いと思う。

また、寿大学に国際交流のテーマを組み込んでみたり、みどりを楽しむ教室でイングリッシュガーデンについて学んではどうか。ハッピークラブの「子ども寺子屋」もふんわりとした雰囲気良かった。来年度は、国際交流を入れたらどうか。

事務局：検討していきたい。

委員：寿大学などの講師を探すのは大変だと思うが、他の公民館との情報交換はあるのか。

事務局：あっている。

広く講師を探すのはどうにか出来ているが、東与賀公民館としては、東与賀の人に講師になっていただきたいと思っている。他の公民館に比べて、地元講師が少ない。地域性もあるかもしれないが、埋もれた人材を今後も探していきたい。

事務局：あと、本年度の寿大学で、東よか干潟ビジターセンター「ひがさす」に見学に行こうと計画している。

委員：「ひがさす」の展望はすばらしい。良い施設になっている。１０月１６日に内覧会が予定されている。１０月２０日のセレモニーが終わったら、一般にも開放される。ぜひ、多くの人に来てもらいたい。

現在も干潟には多くの人たちが来ている。中には外国の人もいる。グローバル化している。大人の英語教室もあってもいいかもしれない。

事務局：「ひがさす」の利用も含めて、検討していきたい。

事務局：学校との行事について意見はないだろうか。

委員：小学校では、今年度は新型コロナウイルスのために行事が少ない。「まなざしコン

サート」も計画してもらっているが、一般の参加者は、(コロナ対策として) 2階のギャラリー席に座ってもらうようにしてもらった。

どの段階で再開できるのかが難しいが、感染予防をして臨んでいくしかない。
来年度の春の遠足で「ひがさす」に見学に行けたらと考えている。

(3) その他

委員：旧公民館の位置づけはどうなっているのか。

事務局：現在も、旧公民館が本来の公民館に変わりはない。

委員：利用はあるのか。

事務局：利用はある。柔道場は、定期的に空手のサークルが利用している。農機具等、古い道具類を見学に、毎年小学生が見学に来る。憩いの部屋の利用もある。

ただし、随分古くなっていて、不具合が出てきている。そのため現在も、雨漏りの修理をするよう業者頼んでいる。

事務局：公民館だけではなく、改善センターも古くなってきていて、毎年修理を行っている。

また、9月の台風14号では、改善センターも避難所となったが、大研修室の空調から結露が落ちてきたこと、横なぐりの雨が視聴覚室の南側の窓から入ってしまうことがわかった。今後、避難所としても活用されていくとなると、他にも支障があると思われる。大きなところで、やはりエレベーターがないと、高齢者には不便だ。

委員：確かに、これからの建物には必要になってくる。

事務局：立て直しの話など止まったままだが、将来に期待していきたい。

7 閉 会